

2022 年 3 月 24 日

## ほしぞらサロン 2022 年 2 月議事録

文責: 阪本 麻裕

日 時: 2022 年 2 月 26 日(土) 18:00~22:00

場 所: プラネタリウム事務所

参加者: 篠原\*, 濱島\*, 山田(明)

(50 音順、敬称略)

職 員: 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 8 名

\* リモート(Zoom)参加者

今回は、サロンで話し合った後、次回のウォッチングに向けてリハーサルや確認を行った。

### 1. 3 月 5 日(土)のほしぞらウォッチング「冬の星空」について

===== 予定 =====

日没 18:18, 月没 20:53

19:00~19:30 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

19:30~20:30 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

使用機材: タカハシ 10cm 屈折式望遠鏡②, ③

観望天体: オリオン大星雲 [M42], すばる [M45]

=====

篠原: オリオン大星雲のモヤモヤした部分がどこまで見えるか。また、すばるの星がどれくらい見えるのかを確認したい。

角田: 過去にオリオン大星雲を見てもらったことはあるが、お客さんの反応は微妙である。

篠原: 福岡県内で光害が少ないところだと綺麗に見える。

角田: 観望天体は、オリオン大星雲とすばるを主とする。そのあたりが曇っていて見えない場合は、色のついた恒星(ベテルギウスやアルデバランなど)や二重星(ミザール・アルコル)を見ようかと思う。月は徐々に高度が低くなっていくため、観望しない。

天頂プリズムやレデューサが必要かどうか確認したい。

篠原: 通常は、外でサーチライトを使用して、星座解説をしている。屋外であるため、感染しにくいのではないかと。また、当日は寒いことが予想されるため、お客さんの滞留は少ないと思う。

角田: 来場者数によると思う。曇っている場合は、正面玄関前付近で iPad で表示した天体画像を望遠鏡で見てもらおうかと考えている。臨機応変に対応したい。

篠原：久しぶりに実施するため、来場者は多いかもしれない。心づもりはしておいた方が良く  
かと。

角田：スタンプカードは配る予定。消毒は各自で行い、スタンプカードを押すための机に置いて  
おく。人を分散させるためには、フォーク式は相応しくない。

小野田：前は、望遠鏡 2 台にそれぞれ別の天体を導入し、1列に並んで順番に見てもらって  
いた。お客さんの人数が多い場合は、待っている間に星座解説をしても良いかもしれな  
い。

篠原：最後尾付近で並ぶ方が随分待たされることになる。

角田：2列に分かれて、望遠鏡 2 台で見ってもらうことにする。

→タカハシの望遠鏡 2 台で、それぞれ導入した天体を見もらう(フォーク式でない)。

1 グループに紙コップ 1 個を渡す。今回はキッチンペーパーを使用しない。

タカハシ② (対象：オリオン大星雲)	タカハシ③ (対象：すばる)
<ul style="list-style-type: none"><li>使用予定アイピース：20mm</li><li>倍率：37倍(天頂プリズム+20mm)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>使用予定アイピース：30mm</li><li>倍率：25倍(天頂プリズム+30mm)又は 16倍(天頂プリズム+レデューサ +30mm)</li></ul>

## 2. 来年度のプラネタリウム番組について

	おとな向け	こども向け
春番組(4月～6月)	「並んだ惑星」	「しし座とかに座のお話」
夏番組(7月～9月)	「月はどうやってできたのか」	「天にのぼったミケラン」
秋番組(10月～12月)	「ニュートリノ天文学」	「ペガサス座のお話/クリスマス」
冬番組(1月～3月)	「すばる」	「オリオン座のお話」

来年度から「リラクセーションプログラム」が新しく「スターリー・ミュージック♪」に。今年度で  
「image」のシリーズは一旦終了する。

## 3. 3月の活動について

- ★ 3月 5日(土) ほしぞらウォッチング「冬の星空」(19:00～20:30)
- ★ 3月 12日(土) ほしぞら友の会(9:30～10:45 星の一生について)
- ★ 3月 26日(土) ほしぞらサロン(18:00～22:00)

次回のほしぞらサロンは、2022年3月26日(土)です。